

# 石見銀山遺跡とその文化的景観

「石見銀山遺跡」は、前近代に比重をおく銀鉱山遺跡であり、本格的な操業期間が16世紀、戦国時代から1923年（大正12）までの約400年にわたります。産業遺産としての構成要件である生産から流通、消費までの段階の中にあつて、生産地である鉱山そのものから流通の前半である積み出し港まで、その全体像を包括的によく残しており、さらに鉱山に伴って形成、或いは発展した鉱山町や陸屋町、港町での暮らしがその周囲の自然や遺跡と調和して今日に継続しています。こうした鉱山遺跡の全体像が交流と技術、また環境に負荷をかけることのないアジア的な鉱山遺跡の顕著な保存例として、第31回ユネスコ世界遺産委員会において、平成19年7月2日「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産へ登録されました。日本国内では14件目、鉱山遺跡としてはアジア初の世界遺産です。

## 龍源寺間歩

代官所経営の五ヶ山の一つです。間歩は600以上あるといわれ、壁面に残ったノミの跡が、当時を物語っています。

- 大田市大森町2183
- 大人410円 小人200円
- 年末年始休
- 9:00~17:00(冬期は16:00まで)
- Tel 0854-89-0347



## 石見銀山世界遺産センター

石見銀山の歴史と技術を紹介する展示や、最新の調査結果を公開しています。

- 大田市大森町1597-3
- 大人300円 小人150円
- 毎月最終火曜日、年末年始休
- 9:00~17:30(冬期は17:00まで)
- Tel 0854-89-0183



## 国指定重要文化財 熊谷家住宅

石見銀山とともに栄えた商家。銀山経営のほか、酒造りなども営んでいました。

- 大田市大森町863
- 大人500円 小人100円
- 毎月最終火曜日、年末年始休
- 9:30~17:00
- Tel 0854-89-9003



## 納館 世界遺産センターサテライト施設

集落の古民家を整備した施設。納ヶ浦の港湾や銀山街道を紹介しています。

- 大田市仁摩町馬路205
- 観覧無料
- 12月~翌2月休
- 9:00~17:00
- Tel 0854-88-3450

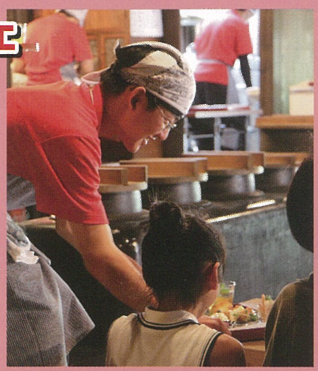


## 7月2日に世界遺産登録10周年を迎えました

平成29年7月2日に世界遺産登録10周年を迎え、各地で様々なイベントが行われました。

### ぎんざんカフェ

重要文化財熊谷家住宅で遼摩高校生による1日限りの限定カフェ。フレンチトーストをメインにした特製スイーツプレートは、きれいに盛り付けられ、お客様から大好評でした。また記念式典ではプロジェクトの報告発表もありました。



### 世界遺産登録10周年記念式典

多くの市民、来賓の方をはじめ、サプライズゲストとして、EXILEのAKIRAさんと映画「たたら侍」の錦織良成監督が登場し、「石見銀山が次の10年、そして100年と続いていくよう多くの人にその魅力を伝えていきたい」と熱くエールを送りました。



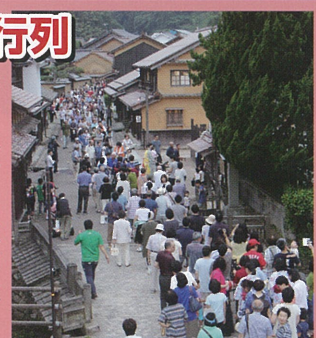
### オペラ石見銀山

石見神楽を融合させた創作オペラが、7月2日に大田(昼夜2回)、9月25日には東京の新国立劇場で上演されました。大田市ゆかりのオペラ歌手、大屋神楽社中や市民合唱団も出演し、3回の公演はいずれも満席。「ブラボー！」の声がいずれも大盛況の舞台となりました。



### 手作り提灯行列

大森町の皆さんが中心となって開催された提灯行列。世界遺産登録日に行ってから10年ぶりの復活。威勢のよい太鼓や鐘の音とともに約400人が大森の町並みを練り歩きました。



### 世界遺産登録までの経緯とその後

昭和32年	大森町文化財保存会設立	平成18年	重要文化財熊谷家住宅の公開開始
昭和44年	日本初の鉱山遺跡として国史跡指定	平成19年	第31回世界遺産委員会で登録が決定
昭和62年	大森の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定	平成20年	石見銀山世界遺産センターのガイダンス棟開所
平成元年	龍源寺間歩整備公開開始	平成21年	石見銀山基金への募金活動開始
平成7年	島根県知事が世界遺産登録を目指して検討を進める意向を表明	平成22年	石見銀山世界遺産センターがフルオープン
平成13年	世界遺産暫定リスト搭載	平成23年	街道(温泉津沖泊道、納ヶ浦道)国史跡追加指定
平成16年	温泉津の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定	平成24年	大久保間歩一般(限定)公開開始
平成18年	国からユネスコの世界遺産センターへ提出された推薦書が正式に受理	平成25年	文化庁が資産範囲の拡大の方針を表明
		平成26年	第34回世界遺産委員会で資産範囲の拡大を承認
		平成27年	世界遺産センターサテライト施設(納館)開館
		平成29年	大久保間歩公開区域拡大(福石場)

## 石見銀山遺跡最大級の坑道跡「大久保間歩」7月より公開拡大!

大久保間歩は、これまで全長約900メートルのうち、入り口から約160メートル区間を公開していましたが、世界遺産登録10周年にあわせて公開区域の拡大整備工事を進めてきました。

拡大整備工事により、これまでの公開区域から、さらに約15メートル奥の高品質な銀鉱石「福石」の採掘場跡、「福石場」(高さ約20メートル、広さ約200平方メートル)の見学が可能になりました。

これまで、福石場は近くに堅坑(垂直方向に掘れた坑道)などがあり、安全面を考慮して公開されていませんでしたが、拡大整備で落石を防ぐ金属製の柵を設けて、堅坑を通過できる経路を整備し、その先に高さ約10メートルの上り階段を設置し、採掘跡跡まで進めるようになりました。

福石場の見学には、「大久保間歩一般公開限定ツアー」への参加が必要です。大久保間歩一般公開限定ツアーは、長靴、ヘッドライトの装備で入坑する探検さながらの限定ツアー。夏でも10℃程度の坑内に一歩、足を踏み入れると、そこは真つ暗な当時の採掘現場でドキドキ・ワクワク感を掻き立てます。

**大久保間歩一般公開限定ツアー概要**  
 料金 大人4000円/小中学生3000円  
 日程 毎週金・土・日・祝日、盆期間(12月~2月は、ツアー休止します)  
 所要時間 約2時間30分程度  
 要予約(当日も空席があれば参加可)  
 ※詳細についてはお問い合わせください。  
 【お問い合わせ先】  
 大久保間歩予約センター  
 (株式会社石見観光大田営業所内)  
 ☎0854-184-10750

# 祝 10周年

